

**平成30年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課：教育委員会事務局 生涯学習 部 社会教育 課

1. 基本情報

1301

施設名	伊丹市立生涯学習センター（ラストホール）		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進し、あわせて市民の教養、文化の発展と健康の増進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：未来を担う人が育つまち 施策目標：ライフステージごとに学び活躍する人づくり 主要施策：生涯にわたる主体的な学習の支援		
指定管理者の名称	公益財団法人 いたみ文化・スポーツ財団 （団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 （管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	利用者人数（単位： 人 ）	
	指標の意味	講座・イベント+施設+フィットネスの利用者のべ人数	
	今年度の目標値	199,000	上期の実績値 96,985

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H26	H27	H28	H29	H30（上期）	H30（通期）
	来館者数（人）		337,586	377,910	364,170	360,152	361,473	173,177
貸し室稼働率（%）		39	45	43	43	42	39	
講座開催回数（回）		630	974	1,038	998	1,023	503	
講座参加者数（人）		18,879	44,153	42,795	43,623	45,435	20,190	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成28年度（2016）	平成29年度（2017）	平成30年度（2018）計画	平成30年度（2018）実績（上期）	
収入	使用料収入	54,049	51,880	55,496	25,690	
	事業収入	15,104	16,086	13,655	9,283	
	その他	189	182	189	58	
	指定管理委託料	123,624	124,326	123,659	59,449	
	①合計	192,966	192,474	192,999	94,480	
支出	維持管理	光熱水費	24,387	25,138	23,951	12,066
		清掃等委託料	24,897	25,317	26,142	11,463
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	7,504	7,664	6,843	2,661
	運営	人件費	38,193	41,452	42,068	18,802
		事業等経費	88,080	85,638	88,894	38,081
		その他	5,506	5,088	5,101	2,308
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	188,567	190,297	192,999	85,381		
純収支（①－②）		4,399	2,177	0	9,099	

		H25	H26	H27	H28	H29	H30（上期）
施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※	市の収入	2,140	249	267	394	228	31
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
<単位:千円>	市の支出	113,704	127,672	269,744	125,707	129,013	60,909
	（内、指定管理委託料）	111,849	118,877	125,516	123,624	124,326	59,449
	実質経費（歳出－歳入）	111,564	127,423	269,477	125,313	128,785	60,878

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	老朽化した施設・設備の維持管理について、利用者の利便性と費用対効果のバランスを配慮しながら、臨機応変に対応している。	A	協定書・仕様書に基づき管理運営されている。施設の老朽化等による修繕についても、市と協議しながら適切に対応している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	施設運営に関して、必要な経験と実績を積んだスタッフを配置。他館との連携を通じたスタッフ交流も行っている。	A	施設運営に必要な人員配置と職員研修を適正に行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	連絡体制を配備。年に2回の消防訓練を行っている。	B	緊急連絡網を整備し、定期的な消防訓練の実施している。
		避難訓練を実施しているか。	B			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	シニアや学生との連携企画を推進し、市民の参画と協働をベースにした学習事業の拡充に努めている。	A	利用者ニーズに沿った事業の実施に努め、利用者の声を施設運営に反映させている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	市民の参画と協働をサポートする事業を積極的に展開している。	B	市民との協働等により継続的な事業展開が図られている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	各種申請書や個人情報について、適切かつ厳重な管理を行っている。	B	個人情報については、適切に管理している。また、広報等を活用し、情報提供にも努めている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	収入確保と支出抑制に努め、収支全体の中で対応している。	B	収支計画に基づき概ね適正に取り組んでいる。
経理処理は、適切に行っているか。		B				

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「-」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	協定書・仕様書に基づき概ね適切な管理運営が実施されている。幅広い世代に対応した事業の実施等により、利用者層の拡大に取り組んでいる。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。
「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。
「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成30年 4月28日～平成30年 9月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	機会があれば、また利用したいと思いますか？ →「利用したい」 95%	より多くの方に「また利用したい」と言ってもらえる施設運営を目指します。
回答者数	破損したまま放置されている建物部分、設備、用具などはありませんか？ →「ある」 2%	施設の老朽化に伴い、館内は痛みや汚れが目立つようになっておりますが、安全面や施設利用に支障がある場所を優先的に対処してまいります。
443	映画の上映会で、開演前にチラシを置いて、席を4、5人分とっている人がいた。	トイレなどの一時退場の際を除き、コンサート等においてチラシを置いて後から入場される方の席を大量におさえる等の行為については、直接の注意・アナウンスにて対応してまいります。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置